

TAKE FREE

マイECCO

vol.
13
2010
FEBRUARY-
MARCH

 **MAINICHI** 
水と緑の
地球環境本部

INTERVIEW

女優 **中嶋朋子**さん

地球に生きる
理想的な環境を追求したい

REPORT

住民、自然保護団体、国が協働して森林整備

赤谷プロジェクト





間伐材から生まれた
折り紙や文房具、賞状など

間伐材から紙の製品 折り紙やノートなど

間伐材を原料にした木目調の折り紙が
登場しました。その名も「折り樹」。折
り曲げてもぱりんと割れることはなく、
ツルやかぶとを折ることができます。
徳島県東みよし町の天然木材の加工会
社「ビッグウィル」が、天然木を0・0

生活道具に 間伐材を

「森を元気に」 エコ商品が続々登場

森林資源を有効活用しようと、文房具や台所用品などに
間伐材を使った日用雑貨が続々と商品化されています。
二酸化炭素(CO2)を吸収する森林の整備には
間伐作業は欠かせません。
森の手入れをして国内の林業の活性化することは、
地球温暖化の防止にもつながります。

【文と写真・明珍美紀】

7ミリの厚さに加工する技術を開発。主に
県内の森林から出た間伐材や端材を再利
用して一昨春秋に販売を始めました。
「間伐材を身近に感じてもらいたかつ
た。折り紙であれば、子どもから大人ま
で楽しめる」と社長の近藤清美さん
(50)は説明します。大(14・5センチ四方
5枚入り600円)と小(10センチ四方、同
350円)の2サイズがあり、すでに計

地元の森林組合などから間伐材を購入し
て同社の工場で行う加工を行い、商品の袋詰
めなど細かい作業は高齢者や障害者が担
うという仕組みをつくりました。
折り紙をはじめ、祝儀袋やはがき、ノ
ート、賞状、名刺など商品の種類を増や
しつつあり、近藤さんは「みなさんの意
見を取り入れながら、間伐材の商品を普
及させていきたい」と意欲的です。

約5000セットが売れました。
もとは福祉施設で経理の仕事をしてい
た近藤さんは、「この地域は過疎化が進
み、若者や中高年だけではなく、年金だ
けでは暮らせないお年寄りの働く場も必
要だった」と言います。一方、周囲を見
渡せば豊かな山林があります。そこで「福
祉・環境・雇用を一体化した新しいビジ
ネスモデルを」と07年春に同社を設立。

グッズを通じて間伐への理解を

アサヒビール(本社・東京都墨田区)
でも昨年11月末、間伐材でつくったオリ
ジナル商品を売り出しました。

同社が所有する「アサヒの森」(広島
県庄原市、三次市)で産出されたヒノキ
の間伐材を素材に、しゃもじ(490円)
や炒め物などに使うターナー(640
円)など6種の商品化。動物をかたどっ
た「アニマルパズル」(7600円)も
あり、神奈川県や茨城県など国内9工場
のギフトショップで販売しています。

アサヒの森は、ビールの王冠の裏に張
るコルクの代用品としてアベマキの樹皮
を確保するために約70年前に購入された
山林で、広さは約2165畝(東京都
の463倍)に及びます。CSR(企
業の社会的責任)の一環として森林の保
全にも取り組み、環境イベントなども行
われています。

これまでも間伐材で割りばしをつくり、
系列会社が経営する飲食店の一部に導入
するなど利用を進めてきました。「これ
らの商品を通じて、森林を元気に育てて
いくために必要な間伐について理解を深



「福祉環境・雇用を一体化した
ビジネスモデルをつくりたい」と話す
近藤清美さん



アサヒの森からつくられた
しゃもじやパズルを手にする
王嘉翎さん

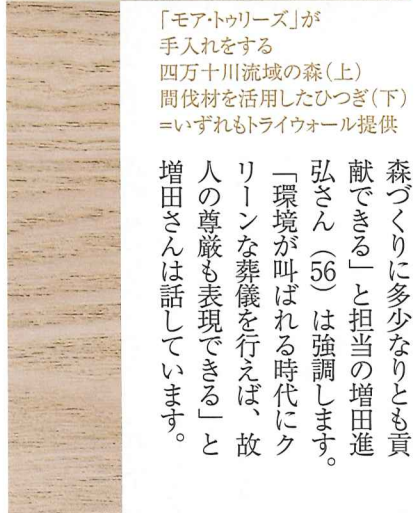
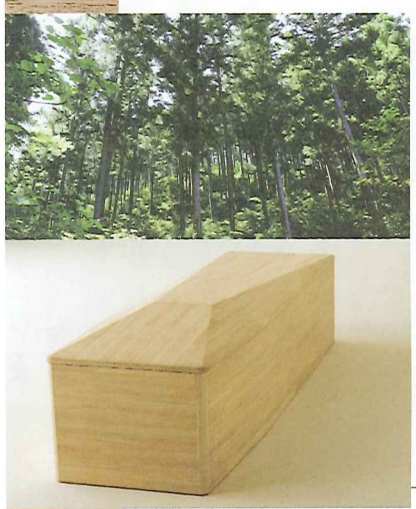
カーボンオフセット付きで 「クリーンな葬儀」

「日本最後の清流」と呼ばれる高知県
四万十川上流の森から出た間伐材のひつ
ぎもお目見えしました。

梱包材メーカー「トライウォール」(東
京都千代田区)が昨秋、発売したひつぎ
「エコフィン・ウィル」は、音楽家の坂
本龍一さんが代表を務める「モア・トゥ
ワーズ」が四万十川流域で手がける森で
育ったヒノキの間伐材を集材材に加工し、
シンプルなひつぎに仕上げました。

価格は26万2500円で、売り上げの
一部はモア・トゥワーズの森林再生活動
に寄付。植林などへの支援や自然エネル
ギーへの投資でCO2の排出を「帳消
し」にする「カーボンオフセット」の費
用も価格に含まれており、葬儀で出され
るCO2(約200キログラム)がオフセット
(相殺)されます。これまでに20本以上
の注文がありました。

「ひつぎのほとんどは輸入木材が使わ
れているが、国産材の間伐材なら日本の
森づくりに多少なりとも貢
献できる」と担当の増田進
弘さん(56)は強調します。
「環境が叫ばれる時代にク
リーンの葬儀を行えば、故
人の尊厳も表現できる」と
増田さんは話しています。



「モア・トゥワーズ」が
手入れをする
四万十川流域の森(上)
間伐材を活用したひつぎ(下)
=いずれもトライウォール提供

問い合わせ先

- ビッグウィル <http://www.bigwill.co.jp>
- アサヒビールお客様相談室 0120-011-121(フリーダイヤル)
- トライウォール <http://www.ecoffin-will.jp/>